

# ささえる力

Power

「ささえる力 Power」は、情熱と誇りをもって働く「人」にスポットをあて水資源機構の仕事を紹介するコーナーです。

# 好奇心

～仕事もプライベートも出会いを大切に～

昭和43年に全面通水して以来、愛知県東三河地域と静岡県湖西地域に農業用水、水道用水、工業用水を供給し続け、地域のライフラインとして重要な役割を担っている豊川用水。平成11年度からは、施設の老朽化等に対応するために二期事業を実施しており、そのうち大規模地震対策の一部と石綿（アスベスト）管除去対策の事業は平成27年度で完了を迎える。本号では、それらの事業完了に向けて日々奮闘する用地の若きエース、表さん取材した。

## Profile

前豊川用水総合事業部 第二用地課

**表 洋輔** *Yosuke Omote*

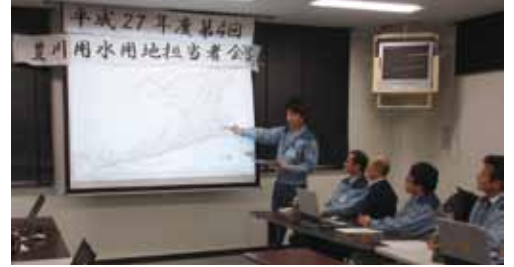
平成25年4月、事務職として入社。この4月より、国土交通省総合政策局総務課土地収用管理室勤務。

## 事業完了を控えて

「優秀な新入社員」と周囲が口を揃え、人望も厚い表さん。好奇心旺盛で、自身の仕事だけでなく、豊川用水総合事業部の様々な仕事や行事にも積極的に参加しているという。「色々な課の飲み会にもお邪魔させていただいています！」とニコリ。事業部・支所合わせて14名の用地課職員のうち一番の若手という。「仕事は大変ですが、先輩方を“独り占め”して色々教えていただけて、用地交渉に同行したり、日々勉強させてもらっています！」と職場環境にも満足の様子。

豊川用水は幹線水路、支線水路、各農家へのかんがい施設と管理する施設が広範囲にわたっているため、用地課の仕事も広域にわたっている。事業部用地課員の主な仕事は、流域北部・南部にある現場支所の用地業務のとりまとめや、予算・工程の管理、また関係機関との連絡調整などがある。そのうち、表さんの主な仕事は、登記業務や税務協議、弁護士や土地改良区などの関係機関との連絡調整、本社・支社との連携などであり、大学・大学院と学んだ法律の知識も役に立っていると





いう。「仕事ですから大変なこともあります、誰かと目標に向かって一生懸命取り組むということは学生時代と何も変わらないと思います。一番大変だったときは、数分おきに電話やファックスがかかってきて、そのたびに書類を作り直したり、打合せをして…対応する前に別の修正が来たりと全く気が抜けませんでした。」新入社員の彼にとって、全てが手探りであった。「あの時ほど、外線やファックスの音が怖かったことはありません。それでも終わってみて、作った書類の山を前にしてみると、達成感はひとしおです。」と社会人として初めての経験を思い返す。「豊川用水は、平成27年度で大規模地震対策の一部と石綿管除去対策の事業が完了するので、現在は9年間の『成果』をまとめるべく、変わらず忙しい毎日を過ごしています。」

## 何事も積極的に挑戦!

現在「管理引継図書」の作成に追われているという表さんだが、プライベートでも「とにかくじっとしてられない。」ということで、先輩や同期の勤務地や学生時代の友人などを頼りにアチコチに出かけては、各地を満喫しているという。また、地元のイベントにも積極的に参加し、豊橋名物「手筒花火」の奉納祭では、平日休日問わず2ヶ月間通い、竹を切るところから花火を作成しイベントに参加したという。

「新入職員の必須研修で、2週間泊り込みでお世話になった農家の方のところには、今でも個人的にお伺いし、手料理をいただいたりお仕事を手伝わせていただいたりしています。」とのこと。「農家の皆さんが、豊川用水にとっても感謝してくださっていることを直接伺うことができ、自分の仕事が誇らしく感じました。」と改めて自分の仕事の使命を感じた様子。「人と何かをするのが一番楽しい」という彼は、仕事でもプライベート

でも沢山の“出会い”を大切にしている。

## 転勤の魅力

就職活動中は水資源機構の業務をより知るために、北海道から豊川用水へ施設見学に赴いたという表さん。「豊川用水の使命や仕事内容にも関心をもちましたが、そのときに案内してくれた職員の方がとても良い方で印象に残っています。機構に就職して初めての配属が豊川用水だったことにも縁を感じています。」と当時を振り返る。

「海外派遣も含めた全国転勤ができる」ことにも魅力を感じ入社を決めたという。学生時代に、親元を離れ北海道で過ごし、新しい土地へ住むことの魅力を身を持って感じた。「社会人になっても、色々なところに住みたい、色々な仕事を経験したい、と思うようになりました。水資源機構の事務職は、用地だけでなく、総務、経理、広報、管理、海外など様々な経験ができると聞いているので、今から楽しみです。海外にもいつでも行けるよう英語も勉強中です！」と将来への希望に溢れる彼はキラキラと輝いていた。



「おいしいものが大好き！」  
な表さんは、寮にて寮生に手料理を振舞うこともあるという。「東三河のキャベツはとてもおいしいです！自分が関わっている“水”が育てた野菜だと思うと、得意料理のお好み焼きがよりいっそうおいしく感じます！」